

番号	2-2-3	表題	気相パージ式アンモニア性窒素濃度計の開発	
内容	<p>昨今、アンモニア性窒素濃度計の測定値を元に送風量を制御する技術が普及している中で、良好な処理水質の維持と、過不足ない送風の両立を目指すには、正確な値を安定的に測定することが重要となる。一方で、これまでのイオン電極法は、汚れや妨害成分の影響等で測定値が不安定になるケースが見られることがあり、今回、反応槽流入水を測定する技術として、アルカリ性にした水相のアンモニアを気相にパージして、気相のアンモニア濃度を紫外線吸光度により測定する方法を開発した。実証実験により、測定値の正確性、安定性の確認、月1回程度の保守点検作業で運用できることを確認したので、この技術の有効性や、その結果について報告する。</p>			
キーワード	気相、パージ、紫外線吸光度、アンモニア性窒素、濃度計			
処理区名		位置区分	水再生センター、処理水 放流水	
職種区分	環境検査	施策区分	高度処理、維持管理向上	
状態区分	調査 研究、維持管理	新規性	新規知見あり	
実施年度	令和4年度	全体期間	令和4から5年度	
担当部署	計画調整部技術開発課			
発表履歴	局内	令和6年度水質技術研究発表会		
	局外	令和6年度第61回下水道研究発表会		
調査方法	簡易提供型共同研究			
関連情報				